

2006年3月号 清水草薙CS通信

今年のレント（または四旬節、もしくは受難節）は3月第一主日からです。教会学校のメッセージは今はまだ「主の祈り」の途中なので、レントのメッセージは第三週目からになります。レントや四旬節、と聞いてもピンとこないかもしれませんが、受難節といわれると、ちょっと推測できる人もいるでしょう。そう、イエス様のご受難の日、つまり十字架の出来事が近づいてくる、そのことを覚える期間（節）で、イースターの前の6主日を除く40日間としています。聖書にこの期間について明記されているところはありませんが、この大切な出来事を、時がたつにつれて忘れてはいけな、また脚色してもいけない」と思ったクリスチャンたちによって4世紀に、いつから数えるか、どのように過ごすかなどが、公式に定められました。ところで、過日テレビ（民放）でキリスト教に関する番組がありました。キリストの十字架上での死について触れたのち、ナレーションで「そして、ついに3日後、キリストは復活しました」とありました。「復活した」と信じられています」でもなければ、「そう伝えられています」でもありません。クリスチャンの番組でもないのにこのような表現をするのは凄いと、だと嬉しくなりました。そうなのです、確かに、確かに、イエス様は死んで復活したのです。さて、教会に今来ている私達は、ノンクリスチャンの方々の前に立ったとき、どうでしょう？ 私達の信仰は、この確固たる十字架の事実と、時を超えて吟味されてきた伝統によって支えられています。感謝しましょう。

< 五日：お誕生会 >

3月生まれの方、お誕生日おめでとう！
祝福のお祈りと、プレゼントがあります。



< 卒業・進級お祝い >

今年は・・・

“みんなでドリ・プラのムービックスで
「ナルニア国物語」を見て、その後にティーパーティ！”
に決定。詳しくは、後日プリントでご案内します。

3月のメッセージの聖書箇所

聖書箇所	
5日	フィリピ 2：6～11
12日	黙示録 22：20～21
19日	ルカ 23：1～5
26日	ルカ 23：6～12

今月の御言葉

「神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。」

詩篇 46：2